

文・取材 ● office WH
 撮影 ● 村上 豊
 取材協力 ● スピードジャパン tel:03-3555-8865 http://www.speedjapan.co.jp
 エスペランサ tel:048-478-6485
 G-SONIC http://www.g-sonic.jp/
 S-FACTORY tel:03-5636-5122

ベンツ兄弟船

第5回 ②でレース参戦!!

190E 2.3-16で目指すはセパン24時間!?

不惑の年からのプロレーサー育成講座

ブレーキ強化②

&足回りのリフレッシュ



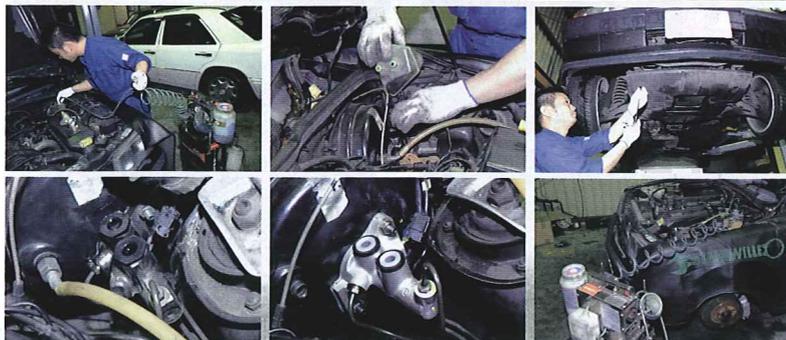
今月の作業、まずは大径のブレーキローター&キャリパーに合わせ、マスターシリンダーも径の太いモノに交換する。500E用を流用し、ブレーキのフィーリングを改善するのだ。写真Aの左がいままで付いていたノーマルのマスターシリンダーで、右が交換した500E用。加工なしで取り付けられた。

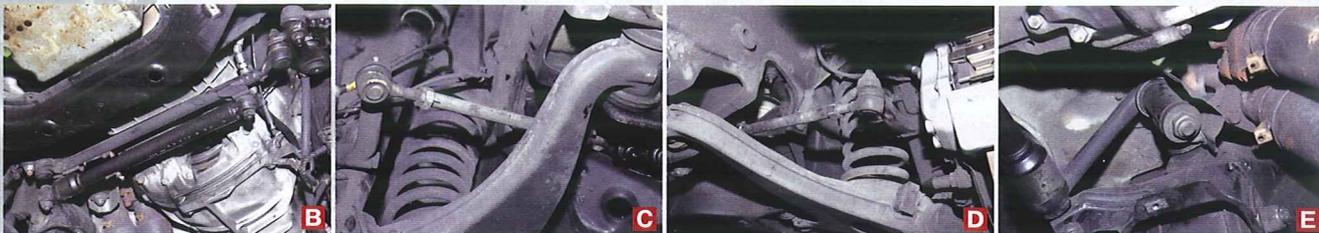


先月号で大径のブレーキローター&キャリパー共にR129用を組み込んだ我らの戦う190E。ヒーローのいサーキットでその強大なブレーキのテストも行った。まずまずの効き具合で大満足!と思いきや、ちょっと不満な点もあったりして。そこで今月は、ブレーキ強化②と、懸念だった足回りのブッシュやタイロッドの交換を行うことにする。

オーバーサイズのキャリパーを装着したおかげで、ブレーキペダルを踏んだときのフィーリングが直しくない。どう直しくないかというと、ペダルをかなり奥までグッと踏み込まないと効き始めないのだ。ペダルを踏み込んだとき、もつと手前で効き始めてくれないとコントロールするのは難しい。参加ドライバー全員がプロなら問題ないでしょうが、素人が何人も混ざったメンバー、ここはブレーキのコントロールをしやすいするためにマスターシリンダーを交換することに決定。

作業は簡単。ノーマルのマスターシリンダーを外して径の大きなマスターシリンダーに交換するだけ。今回選んだのは500E用。加工なしで取り付けられるので作業はあっという間に終わった。これでブレーキペダルのフィーリングはかなり変化したはずだ。イ

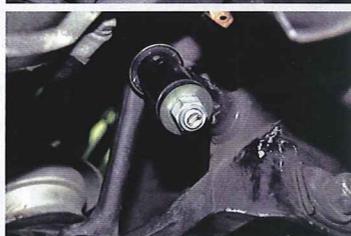
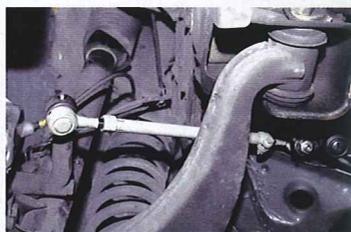




懸念だったフロント足回りのリフレッシュを行う。各部ブッシュのヘタりが原因で足回りはグラグラ状態。今回交換するパーツは、ステアリングダンパー(写真B下側)にドラッグリンク(写真B上側)にステアリングタイロッド左右(写真CとD)、そしてアイドラームブッシュ(写真E)。



ヘタったパーツと新品を比べてみる。ステアリングダンパー(写真F)以外、各ゴムブッシュがヘタっているのがよく分かるだろう。ステアリングタイロッド(写真G)は運転席側。助手席側は若干形状が違って色も黒く塗装されている。もちろんパーツ番号も違う。アイドラームブッシュ(写真H)のゴム部分は新品と比べると一目瞭然と凹凸がなくなっているのが分かる。ドラッグリンクは写真I。



これが交換済みの各部分。マスターシリンダーの交換と合わせ、ひとりの作業で2時間かかった。

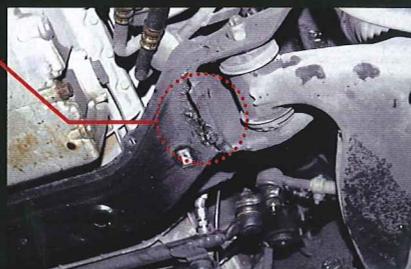
ンブレはのちほど。
次なる作業はガタがきているフロント足回りのブッシュやタイロッドの交換。各部ゴムブッシュがヘタっているのか、かなりグラグラ状態のフロント足回り。これでレースに出るのは不安というより危ない。命に関わるので迷わず新品パーツに交換。
まずはアイドラームブッシュ。ゴムがヘタって(写真H参照)凹凸が全くない状態。新品と比べるとそのヘタリ具合がよく分かる。そして両端のゴムブッシュがヘタヘタになっているドラッグリンク(センターロッド)を交換するついでに、ステアリングダンパーも交換する。でも、このステアリングダンパー、新品と比べても意外

とヘタっていないかった。でも新品に交換しました。次に交換するのはセンターロッドの両端につくステアリングタイロッド。このパーツ、一見すると2本とも同じように見えるけど、実は左右で微妙に形状が違う。黒で塗られているのが助手席側で、緑が運転席側。もちろんパーツ番号も違う。
10時に作業を開始して、ひとりで12時にはすべての作業が完了した。これで安心してレースに出場できる...と思いきや、実は落とし穴が。フロントの足回りを支えるフレームに亀裂発見。どうやら先月号のヒーローのいサーキットでの激走で亀裂が入った模様。相当くたびれていたところに過激な走りが追い打ちをかけた。このまま放つ

ておくとフレームがボキリ折れて左足回りごともげてしまう。スピードの出ているレース中なら大事故につながる。すぐにでも手当てしないと。
スピードジャンプ小澤、さっそくパーツの手配。どうやら単品でパーツが出るらしい。届き次第交換することにして、今回はこれにて終了。
あつ、そうそう。ブレーキのワイヤーリングは断然良くなった。奥まで踏み込まなくても効き始めるし、これなら素人でもコントロールしやすい。
今回は6月15日に行われる本庄サーキットでのデビューレースの模様をお届けする予定。時間がある人、ぜひ本庄サーキットまで応援に来て下さい。

落とし穴発見!

この亀裂!!



これでひと安心でレースに挑める、と思いきや、思わぬ落とし穴を足回りに発見。写真をよくご覧頂きたい。足回りの付け根部分のフレームに亀裂が入っているのを発見。このまま放置してレースなんてやったら足がもげてしまいます。すぐにパーツを注文し、届き次第修理する予定。危ない危ない。

今回お世話になった

SHOP



S-FACTORY

今回の作業もスピードジャンプ提携工場であるS-FACTORY(東京都江戸川区篠崎町7-11-5)さんで行った。ここS-FACTORYはベツを中心としたスペシャルショップ。元ディーラーの経験豊富なメカニックが対応してくれる。パーツの持ち込みもOK。完全予約制なので、ここでメンテをお願いしたい時はtel:03-5636-5122まで電話してから。